

# 「ごみ減らし隊」通信

りゅうがさき  
平成28年1月

「ごみ減らし隊」通信 第13号

## ◆「550チャレンジ」を実施しました◆



7月11日（土）にたつこのマルシェ会場、カスミ龍ヶ岡店、タイヨー竜ヶ崎店の3会場で街頭キャンペーン「550チャレンジ」を実施し、啓発チラシや保冷・保温エコバッグなどの環境グッズを配布して、生ごみ減量や雑がみリサイクルの重要性をアピールしました。

お陰様で、多く市民の方々にごみ減量の啓発をすることができ、大変ご好評をいただきました。立ち寄っていただいた市民の方からも質問いただくことができ、ごみの分別などの普段思っている何気ない疑問について、より理解を深めていただけました。



次回は2月を予定しております。随時広報にてお伝えいたしますので、お見かけした際には、ぜひ会場に足をお運びください。

## ◆「550チャレンジ」って何？

以前まで開催していた懇談会形式イベントを見直し、街頭キャンペーンへと姿を変えた新しい取り組み、それが「550チャレンジ」です！

龍ヶ崎市が平成27年度までに実現を目指す、家庭系ごみの排出量「市民1人1日あたり550g」の目標値に由来した施策です。サンデーリサイクル会場に来てくださった市民の方々に、この目標値を改めて周知し、ごみ減量により一層のご協力をいただくよう啓発するキャンペーンです。

## リユース家具の無償提供事業を開催しました

10月17日（土）、リユース家具の無償提供事業を開催しました。当市では、粗大ごみとして排出された家具の中から、タンスやソファ、テーブルなど、まだまだ使えるものをリユース家具として市民の方々に無償提供しております。板橋町にある清掃工場「クリーンプラザ・龍」修理工房内において開催いたしました。当日は、たくさんの市民の方にご来場いただき、厳正な抽選の結果、最終的に23点の家具がリユースされることとなりました。ありがとうございました。



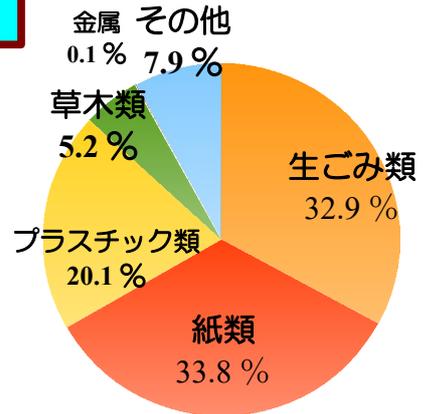
当日の様子

## ごみ減量のキーワードは、生ごみと雑がみ

家庭から排出される燃やすごみのうち、生ごみと雑がみで約 6 割以上を占めています（平成 27 年度夏季ごみ質分析調査結果重量比）。この 2 つを減らすことが、ごみ全体の量を減らすカギとなります。

生ごみは、その 80% が水分と言われています。「ひとしぼり」で生ごみの水気を切ることでかなり減量することができます。

雑がみも、メモ用紙などの小さな紙片も雑誌などの間に挟んだり、紙袋に詰めてそのまま資源物として出していただけます。どちらも“ひと手間”がポイントとなります。ご協力をお願いします。



平成 27 年度夏季ごみ質分析調査結果

## こんな時どうするの？～ライター・スプレー缶編～

Q. 使い切っていないスプレー缶やライターはどうやって処分するの？

A. 中身の残ったスプレー缶やライターをそのまま捨てると、収集時などに引火・爆発のおそれがあります。火気のない、風通しのよい屋外で周囲の安全を確認の上、ガスを全て抜いてから、スプレー缶は穴をあけて資源物、ライターは燃やさないごみとしてお出してください。）

### ガスの抜き方＜例＞



←スプレー缶  
カセットボンベ

風通しのよい屋外で、逆さにして傾けながら押し付ける



←ライター

火を吹き消し  
輪ゴム・テープなどで固定



## 「出前講座」ご活用ください

市では、職員が直接出向き、ごみの減量やリサイクルの重要性などを説明する「出前講座」を実施しております。

去る 6 月下旬に、町内会の総会にお邪魔してごみ減量とリサイクルの説明をさせていただきました。当日は、出席されたみなさんに熱心に説明を聞いていただき、日頃疑問に思っている分別方法などの質問にお答えいたしました。

お申し込みの際は、地区・自治会・各種グループ単位でお願いいたします。詳しくは、環境対策課廃棄物対策グループまで。



※「ごみ減らし隊」通信は、龍ヶ崎市廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）の地域でのごみ減量・リサイクル活動や、市の施策をお知らせするものです。